



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 葛山 稔

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,913	△16.2	401	△51.5	403	△52.6	37	△83.1
25年3月期第2四半期	9,444	△40.0	827	—	851	—	219	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 373百万円 (△54.3%) 25年3月期第2四半期 817百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	0.13	—
25年3月期第2四半期	0.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	10,770	7,835	72.8	27.05
25年3月期	9,144	7,819	85.3	26.92

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 7,835百万円 25年3月期 7,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	24,600	25.8	1,200	△20.1	1,100	△25.9	660	173.9	2.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	289,747,982 株	25年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	89,731 株	25年3月期	88,508 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	289,658,619 株	25年3月期2Q	289,659,824 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による金融政策等を背景に円安・株高が進み、景気に持ち直しの動きが見られるものの、円安による原材料価格の高騰、欧州経済や中国を始めとする新興国経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月下旬に米国の量的緩和と早期縮小懸念に伴い大幅に下落したものの、地政学的リスクの高まりから資産保全としての有用性が再認識されたことによりその後は上昇基調で推移いたしました。売上高においては金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから減少いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や税制等の政策支援により、住宅購入環境に改善の兆しが見られるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、北米市場は堅調に推移したものの、中国及びアジアをはじめとする新興国の成長鈍化等が影響し、厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、金先物価格が低調に推移したことから評価損を計上したものの、当連結会計年度第1四半期に運用益を計上したことが寄与し好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は7,913,958千円(前年同四半期9,444,953千円)、営業損益は401,018千円の利益(前年同四半期の827,265千円の利益)、経常損益は403,006千円の利益(前年同四半期851,516千円の利益)、四半期純損益は37,693千円の利益(前年同四半期219,948千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は5,219,399千円(前年同四半期6,763,476千円)、営業損益は110,008千円の損失(前年同四半期135,665千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は503,175千円(前年同四半期474,919千円)、営業損益は45,508千円の損失(前年同四半期34,796千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は227,234千円(前年同四半期135,844千円)、営業損益は134,372千円の損失(前年同四半期14,245千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は986,193千円(前年同四半期851,745千円)、営業損益は23,830千円の損失(前年同四半期10,177千円の利益)となりました。

投資事業におきましては、売上高は955,979千円(前年同四半期1,218,967千円)、営業損益は939,960千円の利益(前年同四半期1,208,626千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,625,352千円増加し、当第2四半期末は、10,770,075千円となりました。

増加の主なものはデリバティブ債権の増加(30,552千円から292,672千円へ262,120千円の増加)、預け金の増加(200,300千円から4,974,657千円へ4,774,357千円の増加)、であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(3,456,377千円から717,806千円へ2,738,571千円の減少)、貸付商品の減少(679,348千円の減少)であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より1,609,078千円増加し、当第2四半期末は、2,934,730千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(1,200,000千円の増加)、デリバティブ債務の増加(6,927千円から479,852千円へ472,925千円の増加)であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より16,273千円増加し、当第2四半期末は、7,835,345千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(△4,953,428千円から△4,915,735千円へ37,693千円の増加)であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より、2,738,571千円減少し、717,806千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は3,670,653千円(前年同四半期は1,281,072千円の使用)となりました。これは主に税引等調整前四半期純利益407,495千円、貸付商品の減少額679,348千円、デリバティブ債務の増加額472,925千円があったものの、預け金の増加額4,774,357千円等があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は189,736千円(前年同四半期は125,657千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出184,811千円等があったことによるものであります。

財務活動の結果得られた資金は1,121,819千円(前年同四半期は148,999千円の獲得)となりました。これは主に短期借入れによる収入1,200,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、東京商品取引所東京金先物の投資取引により運用益を計上したものの、貴金属取引において、金地金原料集荷量が当初想定より下回ったことによる金地金販売量の減少が大きく影響し、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回見込から大幅に減少いたしました。

詳細につきましては、本日開示しております「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

通期業績につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,377	717,806
売掛金	16,072	21,082
商品及び製品	571,112	800,332
仕掛品	141,608	12,399
原材料及び貯蔵品	38,915	14,659
販売用不動産	297,611	28,817
仕掛不動産	369,285	496,289
貸付商品	679,348	—
預け金	200,300	4,974,657
デリバティブ債権	30,552	292,672
その他	110,719	57,596
流動資産合計	5,911,903	7,416,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,143,637	1,146,462
減価償却累計額	△345,301	△381,735
建物及び構築物（純額）	798,336	764,726
機械装置及び運搬具	570,066	630,232
減価償却累計額	△375,180	△398,131
機械装置及び運搬具（純額）	194,886	232,101
土地	1,550,882	1,550,882
建設仮勘定	19,352	140,600
その他	121,781	122,353
減価償却累計額	△91,541	△96,386
その他（純額）	30,239	25,966
有形固定資産合計	2,593,697	2,714,278
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	1,865	3,971
無形固定資産合計	366,865	368,971
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	149,582	147,657
その他	11,523	11,703
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	272,257	270,512
固定資産合計	3,232,819	3,353,761
資産合計	9,144,723	10,770,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,228	26,731
短期借入金	—	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	148,255	139,958
未払金	46,401	34,641
未払法人税等	50,070	25,419
デリバティブ債務	6,927	479,852
その他	26,883	38,024
流動負債合計	281,766	1,944,627
固定負債		
長期借入金	808,020	738,180
長期未払金	9,000	5,400
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	23,291	21,518
繰延税金負債	19,200	38,623
資産除去債務	177,339	179,348
固定負債合計	1,043,885	990,103
負債合計	1,325,651	2,934,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△4,953,428	△4,915,735
自己株式	△30,941	△30,984
株主資本合計	7,797,695	7,835,345
少数株主持分	21,376	—
純資産合計	7,819,071	7,835,345
負債純資産合計	9,144,723	10,770,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,444,953	7,913,958
売上原価	7,910,365	6,756,605
売上総利益	1,534,588	1,157,353
販売費及び一般管理費	707,322	756,334
営業利益	827,265	401,018
営業外収益		
受取利息	88	106
国庫補助金収入	66,224	45,186
為替差益	—	5,603
その他	3,534	4,748
営業外収益合計	69,847	55,644
営業外費用		
支払利息	6,280	12,662
休山管理費	38,380	40,876
その他	935	118
営業外費用合計	45,596	53,656
経常利益	851,516	403,006
特別利益		
負ののれん発生益	—	4,488
特別利益合計	—	4,488
税金等調整前四半期純利益	851,516	407,495
法人税、住民税及び事業税	19,957	14,115
法人税等調整額	14,315	19,422
法人税等合計	34,273	33,537
少数株主損益調整前四半期純利益	817,242	373,957
少数株主利益	597,293	336,264
四半期純利益	219,948	37,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	817,242	373,957
四半期包括利益	817,242	373,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,948	37,693
少数株主に係る四半期包括利益	597,293	336,264

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	851,516	407,495
減価償却費	79,144	64,354
受取利息及び受取配当金	△88	△106
支払利息	6,280	12,662
補助金収入	△66,224	△45,186
負ののれん発生益	—	△4,488
少数株主損益 (△は益)	—	△349,352
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,203	△5,010
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,930	66,035
貸付商品の増減額 (△は増加)	△30,137	679,348
仮払金の増減額 (△は増加)	△150	△4,001
仕入債務の増減額 (△は減少)	261	23,503
未払金の増減額 (△は減少)	△1,363	△13,185
デリバティブ債権の増減額 (△は増加)	△1,218,967	△262,120
デリバティブ債務の増減額 (△は減少)	—	472,925
預け金の増減額 (△は増加)	△860,612	△4,774,357
その他	20,658	57,268
小計	△1,321,816	△3,674,216
利息及び配当金の受取額	88	106
利息の支払額	△5,037	△9,115
補助金の受取額	66,224	45,186
法人税等の支払額	△20,531	△32,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,281,072	△3,670,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	4,000	—
有形固定資産の取得による支出	△129,745	△184,811
無形固定資産の取得による支出	—	△2,229
子会社出資金の取得による支出	—	△3,800
敷金及び保証金の差入による支出	△365	△60
その他	452	1,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,657	△189,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,200,000
短期借入金の返済による支出	△29,000	—
長期借入れによる収入	240,000	—
長期借入金の返済による支出	△62,001	△78,137
自己株式の取得による支出	—	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	148,999	1,121,819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,257,730	△2,738,571
現金及び現金同等物の期首残高	2,421,444	3,456,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,163,714	717,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属 事業	宝飾 事業	不動産 事業	機械 事業	投資 事業				
売上高									
(1) 外部顧客 への売上 高	6,763,476	474,919	135,844	851,745	1,218,967	—	9,444,953	—	9,444,953
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	8,033	—	—	—	8,033	△8,033	—
計	6,763,476	474,919	143,878	851,745	1,218,967	—	9,452,987	△8,033	9,444,953
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△135,665	△34,796	△14,245	10,177	1,208,626	△56,222	977,873	△150,607	827,265

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△150,607千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,607千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属 事業	宝飾 事業	不動産 事業	機械 事業	投資 事業				
売上高									
(1) 外部顧客 への売上 高	5,219,399	503,175	227,234	986,193	955,979	21,977	7,913,958	—	7,913,958
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	8,033	—	—	—	8,033	△8,033	—
計	5,219,399	503,175	235,267	986,193	955,979	21,977	7,921,992	△8,033	7,913,958
セグメント利益 又はセグメント 損失 (△)	△110,008	△45,508	△134,372	△23,830	939,960	△65,836	560,403	△159,384	401,018

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連及び研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△159,384千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,384千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更等）

前第3四半期連結会計期間から、「貴金属事業」に含まれていた「宝飾事業」について質的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間から、「調整額」に含まれていた企画開発関連及び研究開発関連を事業セグメントとしたため、「その他」の区分に記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。